



学校と地域の交流を促進するために

「わくわくふれあいフェスタ in 宮原小」に、地域の方を講師として招き、地域の自然や文化、食をテーマにした8～9つのコースを作り、親子で体験活動を行います。学校運営協議会も活動内容を考え、講師としても参加し運営に係わっています。



▲竹灯づくり



▲手づくりおやつづくり



▲ギンナンうきストラップづくり

地域を知る取組として、地域の方から学校に伝わる青い目の人形についての講話や、地域学習のときの情報提供、安全面での見守りをお願いしています。

また、6年生は、毎朝のボランティア活動で校内や学校周辺の道路の歩道と花壇の清掃、草取りなどを行っています。地域に関心を持ち、貢献できる子どもたちが育ってほしいと思っています。



▲青い目の人形についての講話



▲地域学習でお店調べ



▲朝のボランティア活動

楽しくがんばる宮っ子



▲校内持久走大会（3年生）



▲八代北部音楽会（4年生）



▲稲刈り（5年生）



▲お別れ遠足・6年生を送る会



▲ICT研究発表会（6年生）



▲にこにこ遊び（縦割り班）

宮原小では、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」をめざしてコミュニティ・スクールの取組を進めています。学校運営協議会を設置し、学校運営にいろいろなご意見をいただきながら、地域の皆さまや保護者の皆さまと力を合わせて、子どもたちの豊かな心の育成や学力の向上に取り組んでいます。



宮原小のコミュニティ・スクールの取組

子どもたちの生活習慣づくりのために

子どもたちの社会のルールを守る意識や、コミュニケーションをとろうとする姿勢を育てるために、あいさつ運動一斉行動の日（毎月15日の朝）に、地域の方々や保護者が通学路に立って子どもたちとあいさつや言葉を交わします。これは氷川町全体での取組でもあります。



学力向上と家庭学習習慣を身に付けるために、地域の方が学習支援に入る取組を行いました。また、PTA活動と連携したノーテレビ・ノーメディアデーの取組では、保護者による朝の校門でのあいさつ運動のときに、児童は自分が挑戦するコースを、シールを貼って宣言します。その翌日はテレビやゲームの代わりに学習や読書、家族との会話などをして家庭学習や読書の習慣づくり、家族の団らんのきっかけづくりをしています。



▲地域の方による学習支援



▲ノーテレビ・ノーメディアデーで、どのコースに挑戦するか宣言



毎週木曜日の朝に、フッ化物洗口の取組への支援と本の読み聞かせに地域の方や保護者が来校されます。カップに入った洗口液を児童が受け取り、口に含んで1分間のブクブクうがいをします。その後、読み聞かせのボランティアの皆さんによる本の読み聞かせが行われます。歯を大事にしようとする意識や、本への興味づけと読書習慣の育成につなげています。



▲フッ化物のカップを配布



▲ブクブクうがい



▲毎週木曜日の読み聞かせ